

橋梁長寿命化及び耐震化の推進による安心・安全な道路交通網の確保

計画概要

◆計画期間 平成24年度 ～ 平成28年度（5年間）

◆交付団体 瀬戸市、小牧市、尾張旭市、豊明市、日進市、清須市、北名古屋市、長久手市、東郷町、豊山町、一宮市、犬山市、江南市、稲沢市、岩倉市、大口町、扶桑町、津島市、愛西市、弥富市、あま市、大治町、蟹江町、飛島村、半田市、常滑市、東海市、大府市、知多市、阿久比町、東浦町、南知多町、美浜町、武豊町、岡崎市、西尾市、幸田町、碧南市、刈谷市、安城市、知立市、高浜市、豊田市、みよし市、新城市、設楽町、東栄町、豊根村、豊橋市、蒲郡市、田原市

◆計画の目標

1. 従来型の事後的な修繕から予防的な修繕への移行により橋梁長寿命化を推進し、安心・安全な道路交通網の確保を図る。
2. 大規模地震発生による落橋等の災害を防止するために橋梁耐震化を推進し、安心・安全な道路交通網の確保を図る。
3. 従来型の事後的な修繕から予防的な修繕への移行によりトンネル・横断歩道橋の長寿命化を推進し、安心・安全な道路交通網の確保を図る。

◆計画の成果目標(定量的指標)

指標①: 市町村道の橋梁長寿命化を推進する。

指標②: 市町村道の橋梁耐震化を推進する。

指標③: 市町村道のトンネル、横断歩道橋の長寿命化を推進する。

評価内容

◆交付対象事業の進捗状況

交付対象事業	事業費※	事業の実施状況
A (道路事業)	9,220百万円	—
B 関連社会資本整備事業	0百万円	—
C 効果促進事業	367百万円	—
合 計	9,587百万円	—

※事業費は実績額

◆事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する交付対象事業の効果の発現状況

1. 橋梁修繕: 対策完了目標882橋に対して、719橋で対策工事を完了し、安心・安全な道路交通網の確保を図った。
2. 橋梁耐震: 対策完了目標105橋に対して、93橋で対策工事を完了し、安心・安全な道路交通網の確保を図った。
3. 横断歩道橋修繕: 対策完了目標29橋に対して、20橋で対策工事を完了し、安心・安全な道路交通網の確保を図った。

Ⅱ 定量的指標の達成状況

指標①(長寿命化率=(対策済み橋梁数)/(要対策橋梁数))

最終目標値	100%	目標値と実績値に差が出た要因	補修工法の見直しなどにより、工事着手に遅れが生じた橋梁があったため。
最終実績値	82%		

指標②(耐震化率=(対策済み橋梁数)/(要対策橋梁数))

最終目標値	100%	目標値と実績値に差が出た要因	補修工法の見直しなどにより、工事着手に遅れが生じた橋梁があったため。
最終実績値	89%		

指標③(長寿命化率=(対策済み横断歩道橋数)/(要対策横断歩道橋数))

最終目標値	100%	目標値と実績値に差が出た要因	点検結果による見直しのために、工事着手時期を変更した横断歩道橋があったため。
最終実績値	69%		

◆今後の方針

急速にインフラの高齢化が進む中、橋梁尾計画的な修繕・更新に向け、必要な対策工事を実施してきた。平成25年の道路法改正により、橋梁等、重要構造物について、新たな点検基準(近接目視)による5年毎の定期点検の実施が義務付けられた。これを契機に、メンテナンスサイクルの構築に向けた具体的な取り組みが全国的に始まっており、各市町村においても構造物の点検・修繕を計画的に進めることとしている。

現在、この計画に基づき、平成30年度までに行うべき1巡目の近接目視点検を進めているところであり、これまでに実施した点検結果により「早期に措置を講ずべき状態」と判定された橋梁について、修繕を完了することを目標に対策を推進し、計画の目標を概ね達成することができた。

今後も橋梁の高齢化は着実に進行することから、計画的な維持管理に向け、早期に措置を講ずべき橋梁の集中的な修繕を行い、以降の損傷が軽微なうちに補修を行う「予防保全型の維持管理」に早期転換できるよう、対策を強化していく。

◆事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	愛知県 建設部 道路維持課 施設整備G
事後評価の実施時期	平成31年3月
公表の方法	愛知県ホームページにて公表

